

～ 体育館に響く力強い歌声 ～

教育委員 伊藤 沙織

先日、知立中学校の卒業式に出席させていただきました。今年度の卒業生は、小学校卒業時に新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まり、卒業式も入学式も例年通りにはできず、2か月の休校の後学校生活がスタートとなった子どもたちです。行事もままならない3年間、不安や苛立ちがたくさんあった事と思います。

この世の中には理不尽なことがあり、社会や大人は完璧な存在ではないことが露呈しました。そんな中、子どもたちのほうがいち早く前を向き、臨機応変に自分たちのできることを考え行動していたように思います。

今回の卒業式、生徒たちからの提案で、合唱コンクールの歌を卒業式で歌うことが決まったそうです。体育館に響く歌声、学校でみんなと声を揃えて歌う、こんな当たり前のことが何よりも尊い。そんなことを思わせてくれました。この先、同じようにままならない事がありくじけそうになるかもしれない。そんな時はぜひみんなで歌ったことを思い出してほしい。3年間を共に乗り越えた仲間たち、この先多くの人と出会うでしょうが、きっとこの仲間たちの存在は特別なものになるでしょう。

どんな困難にも負けない強さを手に入れました皆さんのこれからがとても楽しみです。卒業された皆さん、本当におめでとうございます。

